

日本アゼルバイジャン外交関係樹立30周年記念式典及びジャズコンサート

9月7日、国際ムゲームセンターにて、「日本アゼルバイジャン外交関係樹立30周年記念式典」及び「日本アゼルバイジャン外交関係樹立30周年記念ジャズコンサート」が実施されました。

式典には、アゼルバイジャン政府関係者、企業代表者及び日本アゼルバイジャン友好関係に貢献した方々等、数多くの方が参加しました。

式典冒頭では、和田大使及びムフタル・ババエフ環境天然資源大臣が挨拶を行いました。その後、二国間関係に多大な功績を残された佐藤光行氏（東電設計元アゼルバイジャン共和国火力建設事務所長）、マラハト・イブラヒムギジ氏（国会議員、アゼルバイジャン日本友好議連メンバー、NPO 法人「女性指導者公共ユニオン」代表）、金井昭雄氏（オプトメトリスト、富士メガネ代表取締役社長兼任）、ヌライ・ラスルザーダ氏（バクー国立大学東洋学部極東言語文学科日本語専攻4年生）にご登壇いただきました。



式典に続いて、やまもときょうこ氏によるジャズコンサートが実施されました。コンサートでは、アゼルバイジャンの著名なムガム奏者がやまもと氏を伴奏し、両国の文化の要素が合わさった素晴らしい演奏を行いました。



翌9月8日、「日本アゼルバイジャン外交関係樹立30周年記念ジャズコンサート」を開催しました。やまもときょうこ氏とムガム奏者がコラボを行い、素晴らしい演奏となりました。山本きょうこ氏は、自身のオリジナル楽曲、「さくらさくら」、「花」等の日本の楽曲に加え、「Ay Lachin」、「Bana bana gel」、「Sari Gelin」等有名なアゼルバイジャン楽曲を披露し、会場は感動の大きな拍手に包まれました。

